

— information — 向日市社会福祉協議会からのお知らせ

臨時職員募集 (ホームヘルパー)

職種 ホームヘルパー

雇用条件

- 時給／1,500円～1,950円(他、諸手当あり)
※但し、勤務時間帯、曜日、経験年数によって異なります。
- 勤務日／週1回から可能(要相談)
- 勤務時間／午前7時～午後10時の間で希望時間
- 勤務場所／向日市

資格要件 介護職員初任者研修修了者(旧ホームヘルパー2級)、介護福祉士などの資格をお持ちの方
※資格をお持ちでない方への資格取得助成制度があります。(応相談)

採用人数 3名程度

申込 電話で、向日市社会福祉協議会 ホームヘルプセンター(☎932-1968)中澤まで

★ヘルパーの仲もよく、明るく楽しい職場です！あなたの資格、活かしませんか？ご応募お待ちしております。

福祉教育・ボランティア 学習プログラム

市内の学校やPTA、自治会、事業所等が主催する学習会やイベント等に福祉に関する講師を派遣します。講師は障がい当事者、社協ボランティアセンター登録者及び市内の福祉関係者の方です。

プログラム例

障がい当事者との交流と講話、点字、手話、車いす、要約筆記等の体験、認知症に関する講座、その他福祉・ボランティアに関することなど

対象者 向日市内の小、中、高等学校、PTA、子ども会、自治会、事業所等

申込 随時受付しています。向日市社協HPより申込用紙を出力、記入のうえ向日市社協ボランティアセンターへお申し込みください。(FAX申し込み可)

※FAXはお電話で着信の確認をしてください。

※必ず開催予定日の1か月前までにお申し込みください。

【申込・お問合せ】ボランティアセンター
TEL.923-1961 FAX.933-4425

くらしと仕事の相談窓口 について

生活に困窮する市民の皆様の相談に応じて、「生活資金貸付制度」「住居確保給付金」「ハローワークとの連携による個別対応」などの手続きをおこなっています。お困りの方は、まずお電話でお問い合わせください。

●生活福祉資金制度

詳細は「京都府社会福祉協議会ホームページ」でご確認いただけます。

●住居確保給付金 (求職活動中の家賃補助)

離職、やむを得ない休業による収入減少等で離職と同程度の世帯に対する家賃相当分の給付。
詳細は「向日市役所ホームページ」でご確認いただけます。

【お問合せ】

地域福祉課「くらしと仕事の相談窓口」
TEL.932-1961
Eメールアドレス
peace-support@muko-shakyo.or.jp

ボランティアセンターに 登録しませんか？

令和3年度ボランティアセンター登録者を募集しています。

ボランティアセンターではボランティ

ア活動を行いたい人と、ボランティアの手助けがほしい方との調整や、すでにボランティア活動を行っている団体の活動支援及び相談業務を行っています。

「ボランティア」活動を始めてみたいけれど、どこに相談したらよいか分からない方、新たな活動場所をお探しの方、お気軽にお問合せください。

※この度、ボランティアセンターでボランティアハンドブック「私にできるボランティア活動を見つけよう」を作成しました。市内公民館・コミセンにも配布していますので、是非お手にとって見てください。



【申込・お問合せ】ボランティアセンター
TEL.923-1961 FAX.933-4425

善意のご寄付 ありがとうございました

(令和3年3月16日～令和3年4月28日)

昭和45年度卒乙訓中学校 3年2組クラス会 様	47,196円
乙訓明るい社会づくり 運動の会 様	10,000円
イオンリテール株式会社 様	23,600円
ダイエーイオン フードスタイル東向日店 様	6,355円

ボランティア募金箱設置協力店

京都トヨタ自動車株式会社桂川洛西店／タックメイト万源／キッチンロー／野村龍酒店／中国料理ほぁんほぁん／福祉会館／神崎屋／はなこ／カレー工房ギャー／向陽ゴルフセンター／なかの食品／オカダ酒店

12,123円の募金が集まりました。ありがとうございました。

福祉パレット

福祉パレット7月号 令和3年7月発行 ●URL: <http://muko-shakyo.or.jp/> ●編集・発行/社会福祉法人向日市社会福祉協議会 〒617-0002 京都府向日市寺戸町西野辺1-7 ●TEL.075-932-1960 FAX.075-933-4425 ●E-mail: info@muko-shakyo.or.jp ●広報紙「福祉パレット」は赤い羽根共同募金の配分金を財源として年3回(3月・7月・10月)発行しています。

向日市社協 検索

むこう市社協
MUKOSHISHAKYO

福祉パレット

ご近所福祉のまち向日市をめざして

社協会員の募集が はじまりました。

社会福祉協議会は、住民のみなさまと一緒に、安心して安全なまちづくりを目指して様々な地域福祉活動を推進しています。社協会員とは、本会の展開する事業に賛同し、社協の地域福祉活動を資金面から支えていただく方々です。7月から各区・自治体を通じて募集がはじまりますので、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。写真は、西向日地区社会福祉協議会での、配食活動風景です。



※写真は、コロナ禍以前に撮影されたものです。

LINE公式アカウントに 登録をお願いします。

向日市社会福祉協議会では、コミュニケーションアプリ「LINE公式アカウント」で、皆様のお役に立つ情報や楽しい企画などを配信しています。LINEアプリを起動して「公式アカウント」画面から、「向日市社会福祉協議会」で検索して登録していただけます。友だち登録をお待ちしています。

友だち登録方法

次のいずれかの方法で、かんたんに友だち登録ができます。

その1 QRコード から



LINEアプリを起動して「友だち追加」画面から、「QRコード」を選択。以下のQRコードを読み込んで登録いただけます。

その2 友だち検索 から



LINEアプリを起動して「公式アカウント」画面から、「向日市社会福祉協議会」で検索して登録していただけます。



一言メッセージ
将来的に指導者を目指したい人、集まれ！

ひだまり健康サークル

代表 水野明子さん

高齢者の方々が健康に過ごせるよう体操を指導する人材の育成を目的としています。現在、メンバー15人が月に2回集まり、ストレッチやラジオ体操、脳トレなどさまざまな体操に取り組み、指導者に必要なスキルを学んでいます。もともとは、体操教室を開いていた向日市の高齢介護課から「地域に広めてほしい」と依頼されたことが始まり。継続して実施するには、まず指導者を育てることが必要と考え、サークル結成に至りました。

初年度は、高齢介護課から運動の専門家がアドバイスに来てくださり、しっかりとレクチャーを受けました。私たちの信条は、無理なくできる体操指導を目指すこと。とくに、加齢によって健康障がいを起こしやすくなっている「フレイル」の状態な人が、体操によって元気を取り戻すきっかけになればと思っています。私たち自身も、サークルでの取り組みが日々の活力になっています。みなさんも“体操のチカラ”と一緒に体感しませんか？



活動データ
【設立】令和2年9月
【場所】来迎寺(寺戸)
【日時】第3・4月曜の10:00~12:00

市内で新たなボランティア団体の誕生！

向日市をもっと元気に！

ボランティア活動はより良い地域づくりに役立つとともに、さまざまな出会いや経験によって活動する人自身も豊かにする力を持っています。向日市社協ボランティアセンターには現在、22の団体が登録し、活動しています。今回は、そのうち新たに登録した3つのボランティア団体をご紹介します。設立のきっかけや想いは十人十色。あなたも自分らしさを大切にしながら、参加してみませんか？

ボランティアセンターとは
ボランティアの紹介とマッチング、登録団体の活動支援などを行っています。TEL.932-1961



一言メッセージ
心と身体を軽やかに変えましょう！

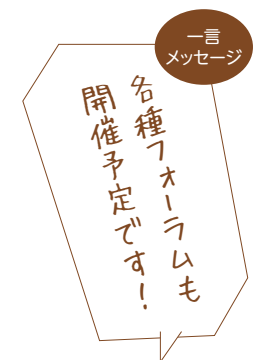
アクティブエイジング

代表 藤田 由佳さん

活動データ
【設立】令和元年7月
【場所】まちテラスMUKO
【日時】第1・3金曜、第2・4水曜の9:30~10:30

リンパケアを活用した肩こりや腰痛などの改善体操、誤嚥性肺炎を防ぐ食前の口の体操などの介護予防活動をレクリエーションの一環として行っています。深い呼吸で体を内面から整えていく優しい体操なので、体力に自信のない方や、小さなお子さんでも無理なく体験できます。運動によって血行が良くなることで「肌のトーンが明るくなった」などの反響もあり、新型コロナウイルスの影響による「マスク老け」を撃退したい人にもおすすめです。

デイケア施設や子育てサークルなどでの出張指導も行っており、いろいろな世代の方と交流ができるのも楽しいです。今後は仲間を増やし、「向日市＝健康なまち」になるよう盛り上げていきたいと思っています。まちテラスMUKOでのリンパ体操教室では、一人ひとりの悩みに沿って指導しています。毎週開催していますので、心身のメンテナンスの機会として、日常に取り入れてみてはいかがでしょうか？



一言メッセージ
各種フォーラムも開催予定です！

向日市子育て応援団

代表 松本 美由紀さん

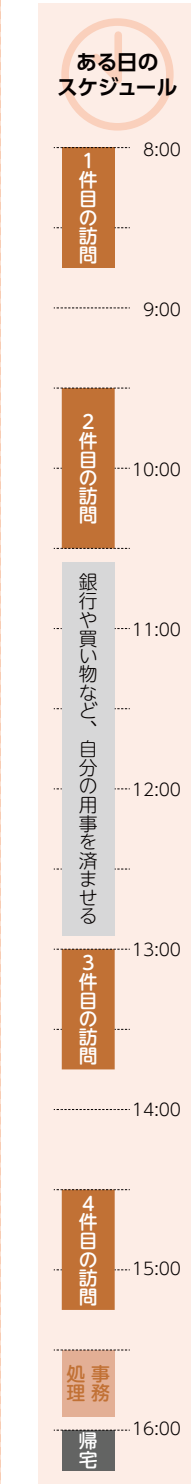


子どもの居場所づくり、子育てに関する悩み相談会の開催などを行っています。私自身が不妊治療を経て出産した際、その後の子育て支援までトータルにサポートする団体が少なく、不安を抱えていました。その経験から、同じように悩む人を支援したいと思い、「向日市子育て応援団」を設立しました。助産師や産婦人科のドクターなどもアドバイザーに加わっています。とくに障がい児や“グレーゾーン”とされる子どもたちの子育てをしている人たちにとって、心強い相談環境であるよう努力しています。子育てをしていると、「今さら聞けないこと」で悩むこともあります。メイン事業の「子育て交流会」は、その本音を打ち明け、解決できる場所を目指しています。個別相談にも対応しているので、気軽に参加してほしいですね。今後は、障がいの有無や性別、年代を問わない多世代交流などにも力を入れ、「家族を超えた地域コミュニティづくり」につなげたいと考えています。

活動データ
【設立】令和2年4月
【場所】未定
【日時】子育て交流会は月に1~2回程度、曜日や時間は未定
SNSにて情報発信中➡LINE ID: @65kosodate

向日市社協ホームヘルプセンター ホームヘルパーのお仕事 第2弾

今回は、食事介護の流れとこの仕事ならではの魅力をご紹介します。ホームヘルパーの藤田敦子さんにお聞きしました。



食事介護

まずは栄養士とも相談しながら、ご本人の希望の食事をスーパーなどで購入します。食べやすいように細かく切ったり、見た目でも楽しめるよう盛り付けを工夫して提供します。かむ力や飲み込む力が低下していることがあるので、口に運ぶタイミングや水分補給にも気を付けていますね。

コロナ対策として、介護前後の手指の消毒や手洗いにはいつも以上に注意しています。

やりがい

利用者さんの状態によって介護のやり方は異なりますが、食事の時間を楽しみにされている方が多く、美味しそうに召し上がる姿を見ると嬉しくなります。またご本人やご家族が「ありがとう」と笑顔を見せてくれたり、無口だった方が私と少しずつ会話をしてくれるようになることも。そんな時は、大きなやりがいを感じますね。

私たちは、日々のコミュニケーションを大切に、利用者さんに笑顔になっていただけるよう、日常生活のお手伝いをさせていただいております。

ホームヘルパーのお仕事についてより詳しく知りたい方は、コチラまでご連絡ください。
ホームヘルプセンター ☎932-1968